



日本プラスチック板協会



目次

■ 歴代会長	1
■ 歴代役員名簿	2
■ 日本プラスチック板協会10年史	4
■ 生産出荷統計	26
■ 樹脂別用途の紹介	27

ごあいさつ

日本プラスチック板協会創立10周年を迎え記念事業として「10周年のあゆみ」を刊行するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

平成17年10月1日に当協会は硬質塩化ビニール板協会、ポリカーボネート板工業会及びポリカーボネート波板工業会が合併して発足致しました。

ここに満10周年を迎えることができましたことは、関係諸官庁ならびに関係諸団体のご指導とご支援、そして歴代の会長を始めとする会員各位の並々ならぬご苦勞とご努力によるものと、深謝する次第です。

設立10年を顧みれば、事業環境は大きく変化しております。リーマンショックや国内不況の長期化による「六重苦」に、東日本大震災での原発事故発生から、再生可能エネルギーへの転換も進められておりますが、コストや安定供給には不安が残っています。消費税アップやアベノミクス効果も、当協会各社にとって必ずしも甘受できる状況ではまだまだありません。

そのような業界・政界多事多難の折、当協会ではホームページを開設し、Q&A集の充実により、プラスチックに対する疑問や不安の解消に努めてまいりました。今年に入り来訪者（ユーザー数）は10万人を突破し、一般の方々からも幅広く利用されております。また、当協会にかかわる経営トップの臨場感溢れる講演も数回行い、若手育成・業界内の底上げに尽力致してまいりました。

更には、可塑剤等環境対応や、JIS規格ISO/TC61への対応等、社会貢献や業界の透明性・公共性を基本とした活動を進めてきました。また、高速道路透光板スペック制定に至るまでに、防音性・透光性・燃焼性等の性能という規格作りから協力し、国民の安全・安心への貢献ができたのではないかと存じます。昨今、ゲリラ豪雨をはじめとする異常気象が定常化していますが、今後も各種団体や官庁に提言を行い、当協会会員の総力をあげて環境対応そして社会貢献に取り組んでいく事が肝要だと考えます。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。今後、当協会が率先垂範し、日本の顧客だけでなく、世界の顧客に、また、日本の社会だけでなく世界の社会に対して存在意義の大きい協会として進化し続けることが重要と考えます。

今後私どもは、企業の社会的責任を果たしつつ、さらなる発展を期して努力を継続する所存です。

何卒、今後も今まで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に「10周年のあゆみ」をご高覧頂き、何かのご参考となれば幸甚です。

平成27年10月

会 長 兵 頭 克 盛



歴代会長

初代	筒中プラスチック工業株式会社	多田和男	H17.10 ~ H18.05
2代	三菱樹脂株式会社	神尾章	H18.05 ~ H20.05
3代	タキロン株式会社	森下誠二	H20.05 ~ H22.05
4代	住友ベークライト株式会社	小川富太郎	H22.05 ~ H24.05
5代	三菱樹脂株式会社	姥貝卓美	H24.06 ~ H26.05
6代	タキロン株式会社	兵頭克盛	H26.06 ~ H28.05



歴代役員名簿

平成17年度

会 長	筒中プラスチック工業(株)	多 田 和 男	
塩ビ平板部会長	タキロン(株)	宮 地 亀 三	
波 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	小 篠 伸 二	
P C 平 板 部 会 長	タキロン(株)	兵 頭 克 盛	
監 事	タキロン(株)	松 本 敏 夫	
〃	筒中プラスチック工業(株)	江 崎 秀 昭	

平成18年度

会 長	三菱樹脂(株)	神 尾 章	
塩ビ平板部会長	筒中プラスチック工業(株)	砂 川 隆 秀	
波 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	石 井 和 夫	
P C 平 板 部 会 長	タキロン(株)	兵 頭 克 盛	
監 事	筒中プラスチック工業(株)	江 崎 秀 昭	
〃	三菱樹脂(株)	平 盛 秀 正	

平成19年度

会 長	三菱樹脂(株)	神 尾 章	
塩ビ平板部会長	三菱樹脂(株)	森 田 滋	久 木 孝 之
波 板 部 会 長	大日本プラスチック(株)	吉 田 央	
P C 平 板 部 会 長	住友ベークライト(株)	砂 川 隆 秀	
監 事	住友ベークライト(株)	江 崎 秀 昭	八 幡 保
〃	三菱樹脂(株)	平 盛 秀 正	阪 上 明 彦

平成20年度

会 長	タキロン(株)	森 下 誠 二	
塩ビ平板部会長	積水成型工業(株)	武 島 幸 一	島 廻 和 由
波 板 部 会 長	タキロン(株)	兵 頭 克 盛	
P C 平 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	伊 藤 恒 夫	
監 事	三菱樹脂(株)	阪 上 明 彦	村 岡 昭 宏
〃	タキロン(株)	吉 見 健 司	

平成21年度

会 長	タキロン(株)	森 下 誠 二	
塩ビ平板部会長	積水成型工業(株)	島 廻 和 由	
波 板 部 会 長	タキロン(株)	兵 頭 克 盛	
P C 平 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	伊 藤 恒 夫	
監 事	三菱樹脂(株)	村 岡 昭 宏	
〃	タキロン(株)	吉 見 健 司	岩 田 恭 浩

平成22年度

会 長	住友ベークライト(株)	小 川 富太郎	
塩ビ平板部会長	タキロン(株)	村 田 光 生	
波 板 部 会 長	住友ベークライト(株)	高 橋 克 己	
P C 平 板 部 会 長	タキロン(株)	金 尾 正 善	
監 事	タキロン(株)	岩 田 恭 浩	
〃	住友ベークライト(株)	寺 島 郁 朗	

平成23年度

会 長	住友ベークライト(株)	小 川 富太郎	
塩ビ平板部会長	タキロン(株)	村 田 光 生	
波 板 部 会 長	住友ベークライト(株)	高 橋 克 己	吉 原 達 生
P C 平 板 部 会 長	タキロン(株)	金 尾 正 善	
監 事	タキロン(株)	岩 田 恭 浩	
〃	住友ベークライト(株)	寺 島 郁 朗	

平成24年度

会 長	三菱樹脂(株)	姥 貝 卓 美	
塩ビ平板部会長	積水成型工業(株)	矢 野 英 伸	
波 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	幸 積 嗣	
P C 平 板 部 会 長	住友ベークライト(株)	吉 原 達 生	
監 事	三菱樹脂(株)	浪 尾 秀 治	
〃	住友ベークライト(株)	寺 島 郁 朗	

平成25年度

会 長	三菱樹脂(株)	姥 貝 卓 美	
塩ビ平板部会長	積水成型工業(株)	矢 野 英 伸	
波 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	幸 積 嗣	
P C 平 板 部 会 長	住友ベークライト(株)	吉 原 達 生	
監 事	三菱樹脂(株)	浪 尾 秀 治	
〃	住友ベークライト(株)	寺 島 郁 朗	

平成26年度

会 長	タキロン(株)	兵 頭 克 盛	
塩ビ平板部会長	住友ベークライト(株)	鈴 木 清 治	
波 板 部 会 長	タキロン(株)	金 尾 正 善	
P C 平 板 部 会 長	三菱樹脂(株)	幸 積 嗣	
監 事	タキロン(株)	武 田 豊	
〃	三菱樹脂(株)	浪 尾 秀 治	

日本プラスチック板協会10年史

平成17年
(2005年)

2月

- 硬質塩化ビニール板協会、ポリカーボネート板工業会、ポリカーボネート波板工業会の三団体により新組織設立WGを立ち上げ、第1回WGの会議開催 (2/1)
- WGリーダーに三菱樹脂(株)小篠伸二氏が就任
- 第2回WGを開催 (2/28) し、会の運営と会費に関して検討
- 《JCIA》先進国に温暖化ガスの排出削減を義務付ける地球温暖化防止・京都議定書が発効するにあたり、3つのタスクフォースを設置、取組み強化

3月

- 第3回WGを開催 (3/15) し、中間報告の概要を纏める
- 硬質塩化ビニール板協会・総務委員会に対して、WGの中間報告が行われた (3/30)
 - ①新組織の名称 ②会の運営 ③会費に関する事項を報告

4月

- 《JPIF》プラ工連4ヵ年計画をスタート
- 《JPIF》アジア・プラスチック・フォーラムに日本代表として参加する事が承認
- 《JCIA》日本経団連・経済広報センター主催の環境技術に関するシンポジウムに参加

7月

- 新組織結成会 (於：筒中プラスチック工業株式会社 会議室) で以下の議案を承認 (7/1)
 - ①組織の名称：日本プラスチック板協会
 - ②初代会長：多田和男氏 (筒中プラスチック工業(株) 代表取締役社長) を選出
 - ③設立日：2005年10月1日
 - ④組織の運営方法、今後のスケジュール等

9月

- 9月16日 (ホテル ニューオータニ)、『10月1日を以て日本プラスチック板協会が発足する』旨の記者会見を実施



9月

- 《JPIF》第31回極東プラスチック業界懇談会をパシフィコ横浜で開催

10月

10月1日を以て、日本プラスチック板協会が発足

- 石油化学新聞（10月24日付け）に多田会長のインタビュー記事が掲載される



- 《JPIF》中国塑料加工工業協会との交流協定に締結

11月

- 第1回 新組織設立臨時総会を開催（11/30）、以下の議案を承認
 - ①組織の運営に関する事項
 - ②会則並びに各部会の規定の承認
 - ③平成17年度の役員を選出

- 構造計算書偽造問題（耐震偽装問題）が発覚
 - ⇨国土交通省公表



11月

- 《JCIA》新しい環境税（温暖化対策税）に関する見解示す
- 《JCIA》レスポンシブル・ケア世界憲章の承認に基づき、「環境・安全に関する基本方針」を改訂

平成18年
(2006年)

2月

- HCB（ヘキサクロロベンゼン）問題が顕在化 ⇒ BAT評価委員会・報告案公表（8/10）



3月

- PC平板部会 ポリカーボネート透光板燃焼試験報告書を発行
- 3月31日を以て 帝人化成(株)が退会
- 《VEC》グリーン購入法の特典調達品目にビニル系床材、再生塩ビの通気管等が追加認定

4月

- 《JCIA》化学の世界を身近に感じてもらう新規パンフレット5冊の刊行
- 《JPIF》ISO/TC61/SC13（複合材料及び強化用繊維）の国際議長、国際幹事を獲得（仏辞退により）
- 《VEC》コベルコ・ビニループ・イーストが溶剤分離法塩ビリサイクルを開始

5月

- 第2回 定時総会において、協会の就業規則の改訂案承認
 - ① 服務規程 ② 出張旅費規定（国内・外国） ③ 給与規定
- 《JPIF》「こんにちはプラスチック改訂5版」を発行
- 《JCIA》第4回「日中化学官民対話」が東京で開催

8月

- 講演会開催 (8/31)
演 題：GHSにおけるラベル表示とMSDS
講 師：池田良宏氏 (日化協 環境安全部 部長)
- 波板部会 波板の耐候性比較の検討を行い、以下の通り推定 ⇔ 出荷推移の考察
PC波板 ≒ 2・6～3・0 (塩ビ波板)

9月

- ISO/TC61 第55回年次大会 (横浜) に当協会から以下のメンバー8名が参加
 - ・塩ビ平板部会：福家邦夫氏 (積水成型工業株)、久木孝之氏 (三菱樹脂株)、渡辺健治氏 (タキロン株)
 - ・波板部会：平井正宏氏 (大日本プラスチック株)
 - ・PC平板部会：石井進悟氏 (旭硝子株)、松浦路雄氏 (日本ポリエステル株)
 - ・事務局：石井技術部長、山岸技術部長



- 製品に含まれる化学物質の適正管理と情報の共有化を目指すアーティクルマネジメント推進協議会 (JAMP) 発足 (9/11) ⇔ EU・REACH法への対応 (電機・電子業界)
- ポリカーボネート透光板 中日本高速道路株の仕様書に掲載
- 《JPIF》ISO/TC61国際会議をパシフィコ横浜で開催
- 《JCIA》第5回日化協 LRI (Long-range Research Initiative) 研究報告会が開催

10月

- ホームページを開設 (10/06) ⇒ ホームページ骨格 略完成 (11/01)

11月

- 第3回 臨時総会開催 (11/30)

12月

- JISK6735：2006（ポリカーボネート平板並びに波板）改定（12/20）
- 《JCIA》化学産業の活動成果をまとめた「レスポンシブル・ケア報告書2006」発行

平成19年
(2007年)

1月

- 《JCIA》「夢・化学-21」委員会は、日本化学会と共同で化学製品の技術や有用性を紹介ウエブサイト「化学ミュージアム」を立ち上げ

4月

- 《JCIA》レスポンシブル・ケア賞を創設、第1回受賞者を決定（5社9名）

5月

- 波板部会 CHINAPLAS 2007（中国・広州）視察研修会を実施

団 長 石井和夫氏（三菱樹脂(株)）
副 団 長 吉田 央氏（大日本プラスチック(株)）
団 員 田中悦雄氏（信越ポリマー(株)）
伊賀茂信氏（大日本プラスチック(株)）
鈴木利幸氏（タキロン(株)）
内海泰滋氏（筒中プラスチック工業(株)）
大道正尚氏（三菱樹脂(株)）

⇒「CHINAPLAS 2007 視察研修会報告書」を発行（H19・6）



- 《VEC》リサイクルビジョンを策定

6月

- EU化学物質規制・REACH法 施行 (6/1)
- 第4回 定時総会開催 (6/12)
平成19年度の役員並びに理事を選任

7月

- 住友ベークライト(株)が筒中プラスチック工業(株)を吸収合併 (7/1)
- 塩化ビニル管・継手協会 独禁法違反の疑いに基づき、公正取引委員会の立入り調査 (7/11)
⇒ 更なるコンプライアンス遵守に向け組織運営の見直しの検討開始
- ホームページ トピックスとQ&Aの掲載項目増大 ⇔ 検索エンジンからのアクセス倍増
- 《JPIF》「プラスチックyear」記念セミナー及び展示会をオレガテクノ展との共催形式で開催
- 《JPIF》リデュース・リサイクル検討委員会を設置し、3Rの取組を強化
- 《JPIF》化学物質管理委員会を設置し、製品含有化学物質情報管理についての対応取組を強化
- 《JCIA》「夢・化学-21」委員会と日本化学会化学教育協議会が国立科学博物館にて、「夢・化学-21」わくわく理科・実験教室を開催

8月

- 講演会開催 (8/21)
演 題：欧州化学品規制REACH対応について－電機電子業界の観点から－
講 師：川上哲司氏 (松下電器産業(株))、波多野太郎氏 (株)村田製作所)

9月

- ISO/TC61 第56回年次大会 (Goa インド)
塩ビ平板技術委員長 福家邦夫氏 (積水成型工業(株)) と山岸技術部長を派遣



- JISA5702：2007 (硬質塩化ビニル波板) 改正 (9/20)
- 《VEC》塩ビリサイクル支援制度を創設
- 《JCIA》第5回「日中化学官民対話」が北京で開催



6月

- JPECとVECは、プラスチック化学リサイクル研究会の平成19年度「功労賞」を受賞
- 《VEC》北海道洞爺湖サミット記念「環境総合展2008」（札幌市）に樹脂サッシ、樹脂サイディング展示

7月

- 北海道洞爺湖サミット開催（7/7～7/9）
- 厚労省が食品安全委員会に『ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について』の意見を打診（7/8）
- 《JCIA》第40回国際化学オリンピックがルーマニア・ブタペストにて開催

8月

- 《JCIA》「全国高校化学グランプリ2008」が開催
- 《JCIA》「夢・化学-21」夏休み子ども科学実験ショーが日本科学未来館にて開催

9月

- ISO/TC61 第57回年次大会（オランダ 米国フロリダ州）に山岸技術部長を派遣



- 《JPIF》中国塑料加工工業会、再生利用委員会の訪日団をプラスチック処理促進協会及び塩ビ工業・環境協会と共同で受入

10月

- 三菱エンジニアリングプラスチックス(株)第一営業部シートグループが、三菱ガス化学(株)機能化学品カンパニー合成樹脂事業部内に移管（10/1）

- JISK6745：2008（硬質塩化ビニル平板）が発行（10/20）

- 小冊子『JISK6745「硬質塩化ビニル板」改正について』を作成し会員へ配布（12月）



10月

- 化審法・改正案纏る（10/23）
ハザード（有害性）評価からリスク（暴露）評価への転換。対象物質 \geq 20,000種

11月

- 第6回 臨時時総会開催（11/27）
- ポリカーボネート板の認定書 NFNN-9932（11月27日付け）を取得
「時刻歴応答解析方法」を適用した構造認定を個別に取得することが義務づけられており、経費が高むため事業の展開が難しい状況だが、規制緩和に向けて一歩前進
- 《JPIF》第34回極東プラスチック業界懇談会を経団連会館で開催
中国塑料加工工業会及びインドが正式参加

12月

- エコプロダクツ展（12/13～12/15）においてカーボンフットプリント制度の試行品の展示
- 《VEC》エコプロダクツ展（東京）出展開始

平成21年
(2009年)

2月

- 講演会開催（2/12）
演 題：化学物質管理の動向 –化審法の見直し–
講 師：池田良宏氏（日化協 環境安全部 部長）
- 《VEC》2005年から大学生、高校生、中学生を対象に実施してきた環境出前授業を小学生にも拡大

4月

- 三菱ガス化学(株)からMGCフィルシート(株)に会員変更
- 《JPIF》新4ヵ年計画スタート

5月

- 第7回 定時時総会開催（5/15）
平成21年度の役員並びに理事を選任
- 《JCIA》国際化学工業協会協議会（ICCA）がジュネーブでの第2回国際化学物質管理会議で化学物質の安全な管理に向けた活動（プロダクト・スチュワードシップ）に関する進捗状況報告書を発表
- 《VEC》ホームページを一新

7月

- 《JCIA》国際化学工業協会協議会（ICCA）が化学工業界の炭素収支のライフサイクル分析結果を発表

10月

- ISO/TC61 第58回年次大会（ローマ イタリア）に山岸技術部長を派遣



- 化審法・改正法の政令公布される（10/30）
- 透光性遮音板の耐燃性能についてNEXCO
試験法904-2009の耐燃性試験（バーナー法）を実施した。⇒ PC板厚10mmが合格
- 《JCIA》アジア太平洋地域の化学産業におけるレスポンシブル・ケア（RC）活動の推進と発展を目指す『第11回アジア太平洋レスポンシブル・ケア会議（APRCC）2009』が東京で開催

11月

- 第8回 臨時時総会開催（11/13）
- 報告書『透光性遮音板耐熱性試験報告書（バーナー法）』を作成し会員に配布（11/16）

12月

- 東部ビル4階から同じビルの5階へ事務所を移転
事務所移転に伴い4階の会議室を手放した（12/11）
- 経済産業省 競争法コンプライアンス体制に関する研究会がガイダンスを公表
それに基づき、協会の方針を再確認
- 《JPIF》樹脂ペレット漏出防止対策実施状況のアンケート調査を会員15団体、全日本プラスチック製品工業連合会等5団体の参加を得て実施
- 《JCIA》業界9団体が「COP15（デンマーク・コペンハーゲン）へ向けての緊急声明」を発表

平成22年
(2010年)

1月

- 《VEC》データで見る塩ビ2010を発刊

2月

- 講演会開催 (2/12)
演 題：『カーボンフットプリント制度試行事業について』
講 師：石塚明克氏 (産環協 カーボンフットプリント推進チーム 技術参与)
- 《JCIA》日化協など産業界主要9団体は地球温暖化対策基本法案についての提言を発表
- 《VEC》一枚で役に立つ塩ビパンフレットを発刊

3月

- 《JPIF》カーボンフットプリント制度「プラスチック製容器包装」のPCR (商品種別算定基準) 認証取得

4月

- Google解析ソフトを用いて、ホームページの閲覧解析を開始

5月

- 第9回 定時総会開催 (5/14)
平成22年度の役員並びに理事を選任

9月

- ISO/TC61 第59回年次大会 (バンコク タイ) に山岸・有竹の新旧技術部長を派遣



- 《JPIF》工業調査会社発行のプラスチック誌が9月号をもって休刊

10月

- 《VEC》「塩ビものづくりコンテスト2011」を開始

11月

- 第10回 臨時時総会開催 (11/05)
若手育成・講演会の開催を行うことが承認
運営委員会規定及び環境委員会規定が承認

11月

- 《JPIF》6月のEU「RoHS改正案」評決に関し意見書を提示
11月採択の合意案では追加の「使用禁止物質」、「使用禁止候補物質」のリストが削除
- 《JCIA》第1回「化学人材育成プログラム」の化学系公募を開始
- 《JCIA》日化協など産業9団体は共同記者会見を開き、「COP16等に向けた産業界の提言」を
発表

12月

- 第1回 若手育成・講演会開催 (12/2)
TOP講話 演 題：住友ベークライトの人材育成
講 師：会 長 小川富太郎氏 (住友ベークライト(株) 代表取締役会長)
一般講演 演 題：日本のものづくりとひとづくり
講 師：教 授 藤本隆宏氏 (東京大学大学院経済学研究科)
- 《JCIA》化学物質管理強化の為の新たな化学工業界としての自主的取り組み「JIPS=Japan Initiative of Product Stewardship、(ジャパン イニシアティブ オブ プロダクトスチュワードシップ)」を開始

平成23年
(2011年)

2月

- 《JPIF》プラスチック誌が1・2月合併号から日本工業出版社より復刊

3月

- 第2回 若手育成・講演会開催 (3/9)
TOP講話 演 題：社員共育と人材育成
講 師：吉田 宏氏 (三菱樹脂(株) 代表取締役社長)
一般講演 演 題：ものづくりの新しい潮流
講 師：赤池 学氏 (株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長
- 東日本大震災 (3/11)
30万円を中央共同募金会へ寄付
- 3月31日を以て 賛助会員のAGCエンジニアリング(株)が退会
- 《JPIF》海洋ゴミ問題解決のための世界プラスチック業界団体による宣言に署名
- 《VEC》東日本大震災により鹿島地区の工場が被災

6月

- 第11回 定時総会開催 (6/3)
平成23年度の役員並びに理事を選任

6月

- 第3回 若手育成・講演会開催 (6/23)
TOP講話 演 題：経営を考える
講 師：森下誠二氏 (当協会 前会長、タキロン(株) 相談役)
一般講演 演 題：化学産業を取り巻く環境と人材育成
講 師：西出徹雄氏 ((一社) 日本化学工業協会 専務理事)
- 《JPIF》環境委員会を設置し、Marine Litter等環境関連の取組を強化
- 《JPIF》事務所移転 (六本木化成成品会館 ⇒ 日本橋茅場町アロマビル)

7月

- 《JCIA》「国際化学年」特設ケータイサイト『ケミカル、ミラクル、夢がくる』を開設
- 《VEC》「塩じものづくりコンテスト2011 (第1回)」の審査発表と表彰式を開催

8月

- 《JCIA》温暖化対策における化学業界の貢献度を調査した報告書、「国内における化学製品のライフサイクル評価－温室効果ガス削減に向けた新たな視点－」を発行

9月

- 三菱樹脂(株)長浜工場所有の硬質塩ビ板製造用プレス機が『未来技術遺産』として登録される
『3×6-1プレス機』は、国内初の3尺×6尺 (900mm×1800mm) のサイズに対応した硬質塩化ビニル板の製造装置



- ISO/TC61 第60回年次大会 (クワラルンプール マレーシア) に有竹技術部長を派遣



10月

- 《JPIF》第37回極東プラスチック業界懇談会を幕張メッセ国際会議場で開催

11月

- 第12回 臨時総会開催 (11/7)
各部会の運営方法の見直しを行い、PC平板部会規定、波板部会規定、塩ビ平板部会規定の改訂を行うと共に、「会の運営について」も見直し
- ホームページをリニューアルし、会員ページを新設 (11/10)
- 会員ページは、協会関連の委員交代があった場合に概要が理解できる情報と、会員が情報共有できる項目を掲載
- ホームページのホスティングサービスを変更 (11/30)
ディスク容量：200MB ⇒ 40GBへUP

平成24年
(2012年)

2月

- 第4回 若手育成・講演会開催 (2/10)
TOP講話 演 題：次代を勝ち抜くための“人材=投資”ポートフォリオ経営
～自律的人財の育成をめざして～
講 師：周藤龍夫氏 (積水成型工業(株) 代表取締役社長)
一般講演 演 題：第三創業期への挑戦
～世界の激変に日本企業はどう対応するべきか～
講 師：山本富造氏 (山本化学工業(株) 代表取締役社長)
- 《JCIA》平成23年度化学人材育成プログラム協議会総会、研究内容発表会を開催

3月

- (財)日本規格協会と「JIS規格等著作物利用基本契約書」を取り交わした (3/21)
(註) 追補改正に係る契約書の締結
- JIS A5702：2012 (硬質塩化ビニル波板 (追補1)) が発行



- 3月31日を以て MGCフィルシート(株)が退会
- 《JCIA》グリーン・プロダクツのCO₂排出削減貢献量算定のガイドライン発行

4月

- 《VEC》「PVC Design Award (塩ビものづくりコンテスト) 2012 (第2回)」をスタート

5月

- 《JPIF》「こんにちはプラスチック改訂6版」を発行

6月

- 第13回 定時総会開催 (6/1)
平成24年度の役員並びに理事を選任
- 酒井事務局長就任 (6/18)
- ISO11833-1 : 2012 Plastics -- Unplasticized poly (vinyl chloride) sheets -- Types, dimensions and characteristics -- Part 1 : Sheets of thickness not less than 1 mm 発行
- 板協の「規格に関する取り組み状況」を更新 (トピックス)

7月

- 「PC板/防火材料の用途拡大に向けての取り組み状況」を掲載 (トピックス)
- 《JPIF》「第3回プラスチックのイメージ調査」を実施



8月

- 第17回 理事会にて9月1日付専務理事交代が承認
- 小泉専務理事退職 (8/31)

9月

- ISO/TC61 第61回年次大会 (バルセロナ スペイン) に幸積塩ビ平板技術委員長、有竹技術部長を派遣



10月

- 《VEC》「名古屋プラスチック工業展」、「東北環境展（仙台）」に出展

11月

- 第38回極東プラスチック業界懇談会に専務理事参加（ソウル 韓国、11/1～2）



- 第14回 臨時総会開催（11/20）
板協一般講演会の内容/頻度、総会ゴルフの時期/頻度の見直しが承認
- ISO 11963 : 2012 Plastics -- Polycarbonate sheets -- Types, dimensions and characteristics
発行

平成25年
(2013年)

4月

- 板協一般講演会開催（4/10）
演 題：シェールガス・オイル革命がもたらす影響
～米国の石化事情と日本石化産業への影響～
第一部 エネルギー面における影響
講 師：下斗米一明氏（三井物産戦略研究所 PM）
第二部 米国石化事情と日本石化産業への影響
講 師：森本 卓氏（三井物産株 執行役員）



- 《JPIF》新4ヵ年計画スタート
- 《JCIA》「化学産業における国際標準化の目指すべき方向」刊行
- 《VEC》「リサイクル支援制度」太平洋セメントの塩ビ含有プラの脱塩素燃料化システム開発が進捗

5月

- 第15回 定時総会開催 (5/31)
平成25年度の役員並びに理事を選任
総会 (1回/年)・理事会 (2回/年) の開催
要領が承認 (臨時総会の定例化廃止)



- 「ポリ塩化ビニル板用溶接棒について」を掲載 (Q&A Q20)

9月

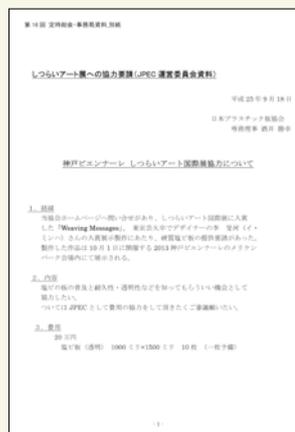
- ISO/TC61 第62回年次大会 (蘇州 中国) に岸本PC技術委員長、川原田塩ビ平板技術委員及び有竹技術部長を派遣



- 《JPIF》カーボンフットプリント制度「プラスチック製容器包装」のPCR改訂更新登録
- 《JCIA》「ライフサイクルアセスメント (LCA) -なぜやるの いつやるか」刊行
「グラフで見る日本の化学工業2013」刊行

10月

- 神戸ビエンナーレ しつらいアート国際展にJPECの協賛を得て硬質塩ビ板 (透明板) をデザイナーである李旻河 (イ・ミンハ 東京芸大卒) さんへ提供する



10月

- 第39回極東プラスチック業界懇談会に専務理事参加（高雄 台湾、10/24）
- 《JPIF》ISO/TC 138/WG 12がSC8に昇格、日本が幹事国を獲得

11月

- 《JPIF》「食品用プラスチック容器包装の利点」初版を発行
- 《JCIA》eLCAガイドライングローバル版「GHG排出削減貢献に対する意欲的な取り組み」発行

平成26年
(2014年)

2月

- ホームページ閲覧解析 訪問（=セッション）数が100,000件を突破
- 環境委員会開催（2/28）
「化学産業の地球温暖化問題への対応」と題して日本化学工業協会 吉清技術部長より講演を頂く
- 《VEC》グリーン購入ネットワークのガイドラインが塩ビの情報提供項目廃止

3月

- 板協一般講演会開催（3/12）
第一部 演 題：国内外の化学物質管理の最新動向
（ビジネス展開の観点から）
講 師：庄野文章氏（日本化学工業協会 常務理事）
第二部 演 題：黎明から汎用プラスチックに育つまで
（ポリオレフィンの製造技術・成形技術・用途の発展）
講 師：末松征比古氏（三甲株式会社 社長室長）
- 日本プラスチック工業連盟主催の加工懇談会で当協会のホームページを紹介
- JIS K6735：2014(プラスチック-ポリカーボネート板-タイプ、寸法及び特性)が改正



- 《JPIF》リーフレット「樹脂ペレット漏出防止徹底のお願い」制作、頒布開始
- 《JCIA》「国内及び世界における化学製品のライフサイクル評価（日化協レポート）」第3版を発行

4月

- ホームページの更新
 - ①高速道路に使用される透光板遮音壁に関するPC板の耐燃性能について
 - ②規格に関する取り組み状況

5月

- 第16回 定時総会開催 (5/23)
 - 平成26年度の役員並びに理事を選任
 - 平成26年度役員改選より部会長/副部会長各1名体制とする事が承認
- ホームページ閲覧解析 ページビュー数が200,000件を突破

6月

- 《JPIF》「食品用プラスチック容器包装の利点」初版増刷

7月

- 《JPIF》東京都の中学理科教師を対象にした工場見学会開催

8月

- 《JPIF》容器包装リサイクル制度に関するパブリックコメントを提出

9月

- ISO/TC61 第63回年次大会 (ハワイ 米国) に谷岡塩ビ平板技術委員長及び有竹技術部長を派遣



10月

- 第40回極東プラスチック業界懇談会に専務理事参加 (幕張メッセ、10/29)

11月

- 第21回 理事会に於いて以下の案件が承認
 - ・環境委員会規定の改定とJPEC運営委員長に関する選任について
 - ・板協10周年記念行事に関する小冊子作成
 - ・会費算定シミュレーションによる従来基準の一部見直し
- 《JPIF》プラスチック教材として汎用プラスチックのカットシートのセットを制作、頒布開始

平成27年
(2015年)

1月

- ホームページ閲覧解析 来訪者（ユーザー数）が100,000人を突破
- 《JCIA》『化学品のリスクベースでの管理』の業界普及に向けた啓発冊子を発行

3月

- 板協一般講演会開催（3/4）
 - 第一部 演 題：高周波の応用技術について
講 師：梅本 等氏（山本ビニター株式会社 高周波テクノ事業部）
 - 第二部 演 題：3Dゲルプリンターから始まる化学材料のメディア化
講 師：古川英光氏（山形大学大学院理工学研究所 教授）



- 《JPIF》消費者団体懇談会を5年振りに開催
プラスチックシート成形を実演
「暮らしの中のいろいろなプラスチック」制作、頒布開始

4月

- 永見事務局長就任（4/1）
- 第22回理事会にて7月1日付専務理事交代を定時総会へ上程する事が承認

5月

- 第17回 定時総会開催（5/22）
平成27年度の役員並びに理事を選任
7月1日付専務理事交代が承認。技術部長嘱託延長（6ヵ月間）が承認

6月

- 酒井専務理事退職（6/30）

7月

- 永見専務理事就任（7/1）

8月

- 第18回 臨時総会開催（8/27）
事務局業務再編案及び事務所引越し承認
協会ITセキュリティ環境整備について説明、承認

10月

- 日本プラスチック板協会10周年（10/1）

12月

- JIS K6745 : 2015（プラスチック－硬質ポリ塩化ビニル板）が改正

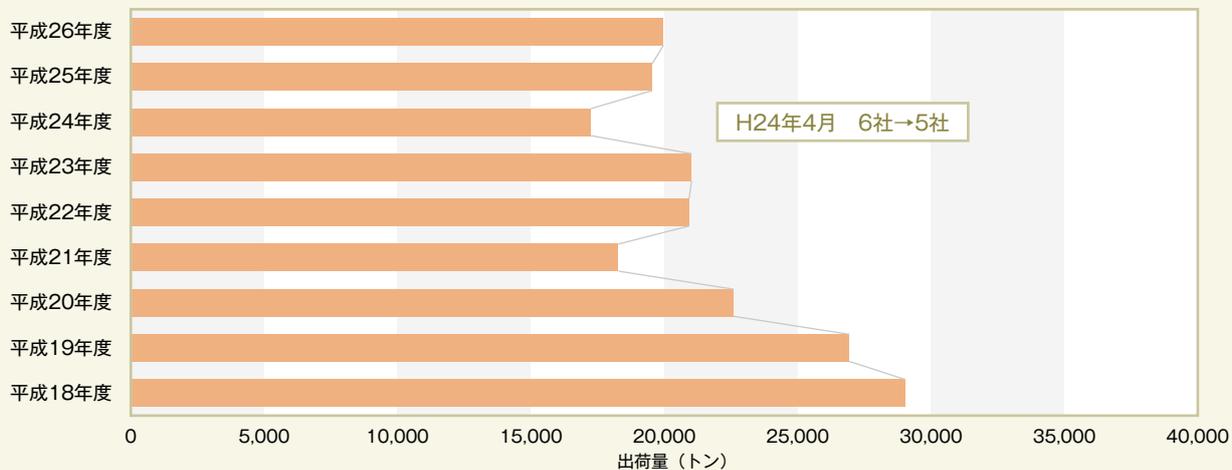


生産出荷統計

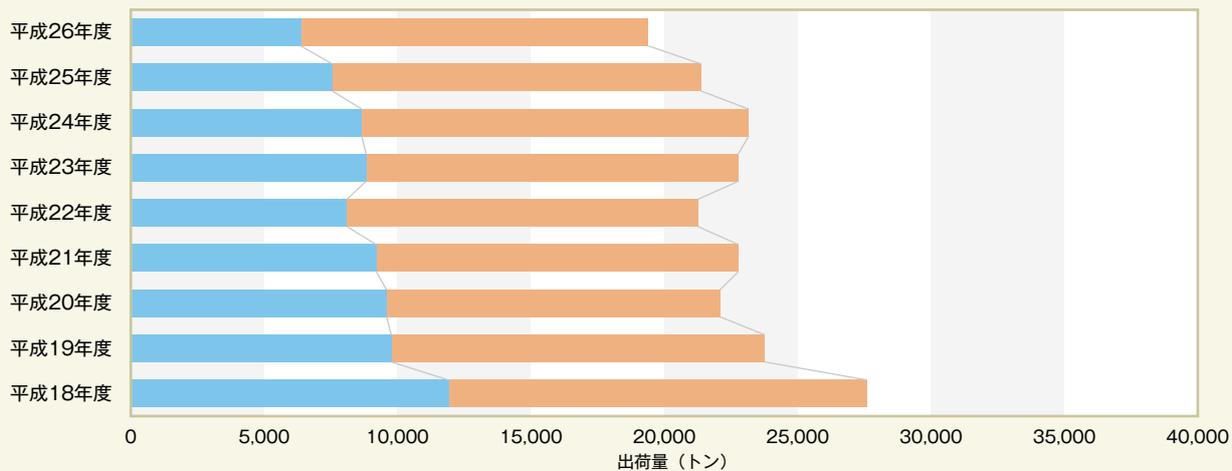
出荷推移 (年度)

(注) PC樹脂 塩ビ樹脂

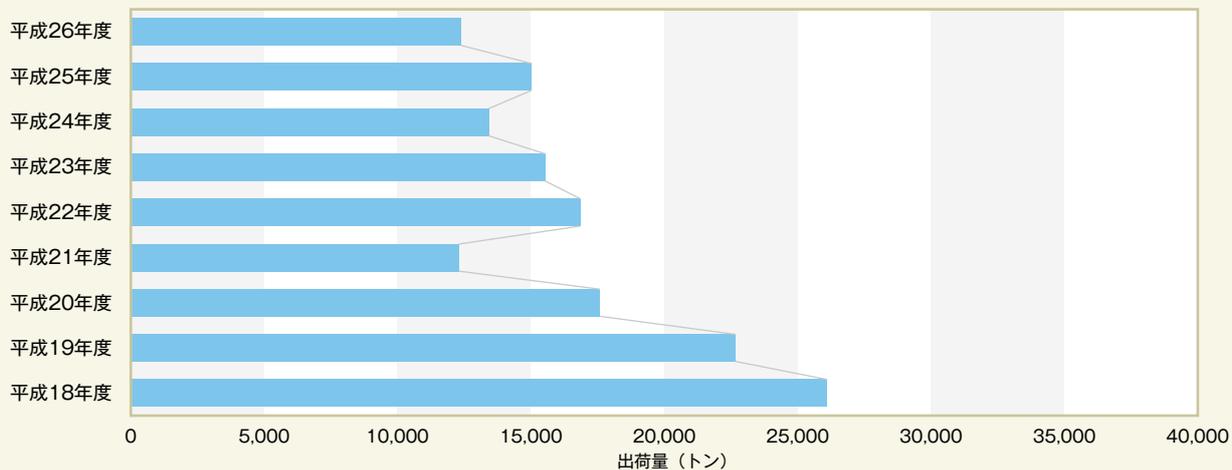
PC 平板・出荷推移 (年度)



波板・出荷推移 (年度)



塩ビ平板・出荷推移 (年度)



樹脂別用途の紹介

ポリカーボネート平板

用途

建築用途

屋根……カーポート・テラス・運動施設・アーケード・畜舎
外装……開放的簡易建物
他 外装……窓・ドア・門・塀・軒裏・看板・広告塔・装飾塔
内装……間仕切り・ついたて・ディスプレイ・店装・腰板・照明カバー
道路……透光板・シェルター

産業用途

産業部材……液晶パネル部材・機器カバー
輸送機用……サンルーフ・窓
その他……自動販売機・携帯電話・ゲーム機器

特徴

- ・非常に優れた耐衝撃性を有するポリカーボネート樹脂の特長を生かして使用されています。
- ・ガラスに匹敵する透明性に加え、耐熱・耐候性に優れています。
- ・成形・加工性に優れ、常温で以下の条件まで曲面施工が可能です。
(曲率半径 $\geq 200 \times$ 厚み)



ポリカーボネート波板

用途

住宅用……明り取り・テラス・カーポート
畜舎用……牛舎・鶏舎・豚舎
外装……開放的簡易建物
その他……駐輪場・雪囲い・仮設

特徴

- 非常に優れた耐衝撃性を有するポリカーボネート樹脂の特長を生かし、ヒョウ等による破損は、大幅に減少しています。
- ガラスに匹敵する透明性に加え、耐熱・耐候性に優れています。
- 孔開け・裁断などに優れ、冬場の施工時にも安心してご使用いただけます。



硬質塩化ビニル平板

用途

工業用途

ハイテク……半導体・液晶製造装置・クリーンルーム・プリント基板製造装置
電解槽／現像……メッキ装置・写真現像機
空調／排ガス……排気・廃液装置・吸排気ダクト・ファン
水処理……脱臭ダクト・スクラバー・トラフ沈降板
その他……食品・化学・搬送機器

一般用途

看板／ディスプレイ……看板・標識・陳列部材
採光／建材……照明カバー・目隠し板
その他……文具・銘板

特徴

- ・工業用途
施工性（裁断、孔開け、溶接、曲げ、型付け）、制電・除電性、耐薬品性に優れ、自己消火性と耐久性を有し経済的である、塩ビの特長が活かされて使われています。
- ・一般用途
加工性（裁断、接着、曲げ、印刷）に優れ、自己消火性があり、経済的です。



硬質塩化ビニル波板

用途

住宅用……明り取り・テラス・カーポート
畜舎用……牛舎・鶏舎・豚舎
外装……開放的簡易建物
その他……駐輪場・雪囲い・仮設

特徴

- 耐食性に優れ、軽量で丈夫であり経済的です。
- 色彩が美しく、光線の拡散透過性に優れています。
- 耐薬品性に優れており蓄糞処理の際発生する酸・アルカリにも安心してご使用いただけます。



日本プラスチック板協会概要 (JAPAN PLASTICS SHEET ASSOCIATION [JPSA])

1. 設 立	(1) 硬質塩化ビニール板協会 (2) ポリカーボネート板協会 (3) ポリカーボネート波板工業会の三団体が2005(平成17)年10月1日付で統合し、発足した協会である																																													
2. 目 的	硬質塩化ビニール板及びポリカーボネート板の普及、発達を図り斯会の健全なる発展に寄与する事を目的とする																																													
3. 事業内容	<p>本会は、目的達成のため次の事業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 硬質塩化ビニール板ならびにポリカーボネート板についての広報・宣伝に関する事項 (2) 硬質塩化ビニール板ならびにポリカーボネート板についての規格の制定・改定・廃止に関する事項 (3) 硬質塩化ビニール板ならびにポリカーボネート板についての環境対策・安全性に関する事項 (4) 硬質塩化ビニール板ならびにポリカーボネート板についての調査・研究・指導の実施、その他技術の向上に関する事項 (5) 官庁その他関係方面との連絡折衝 (6) その他本会の目的達成のために必要な事項 																																													
4. 会 長	兵頭 克盛 (タキロン株式会社 代表取締役社長)																																													
5. 会 員 【会員数：8社】	<p>硬質塩化ビニール又はポリカーボネート板の製造を業とするもの又は販売を業とする会社で8社 (※：会長会社)</p> <table border="1" data-bbox="387 1294 1436 1619"> <thead> <tr> <th>会員会社</th> <th>PC平板</th> <th>PC波板</th> <th>塩ビ波板</th> <th>塩ビ平板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旭硝子株式会社</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>信越ポリマー株式会社</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住友ベークライト株式会社 ※</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>積水成型工業株式会社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大日本プラスチック株式会社</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タキロン株式会社 ※</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>日本ポリエステル株式会社</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三菱樹脂株式会社 ※</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>組織図</p> <pre> graph TD G[総会] --- S[監事] G --- R[理事会] R --- OC[運営委員会] R --- SB[塩ビ平板部会] R --- WB[波板部会] R --- PC[PC平板部会] R --- EC[環境委員会] </pre>	会員会社	PC平板	PC波板	塩ビ波板	塩ビ平板	旭硝子株式会社	○				信越ポリマー株式会社		○	○		住友ベークライト株式会社 ※	○	○	○	○	積水成型工業株式会社				○	大日本プラスチック株式会社		○	○		タキロン株式会社 ※	○	○	○	○	日本ポリエステル株式会社	○	○			三菱樹脂株式会社 ※	○	○	○	○
会員会社	PC平板	PC波板	塩ビ波板	塩ビ平板																																										
旭硝子株式会社	○																																													
信越ポリマー株式会社		○	○																																											
住友ベークライト株式会社 ※	○	○	○	○																																										
積水成型工業株式会社				○																																										
大日本プラスチック株式会社		○	○																																											
タキロン株式会社 ※	○	○	○	○																																										
日本ポリエステル株式会社	○	○																																												
三菱樹脂株式会社 ※	○	○	○	○																																										

日本プラスチック板協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂一丁目5番26号 東部ビル

TEL : 03-3408-4342 FAX : 03-3403-6990

<http://www.p-bankyo.com/>

会 員

- 旭硝子株式会社 〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
TEL : 03-3218-5741
- 信越ポリマー株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目9番 相鉄神田須田町ビル6~7階
TEL : 03-5289-3712
- 住友ベークライト株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL : 03-5462-4111
- 積水成型工業株式会社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目1番9号
TEL : 06-6347-0661
- 大日本プラスチック株式会社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目1番3号 ノースゲートビルディング16階
TEL : 06-6453-9270
- タキロン株式会社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目1番3号 ノースゲートビルディング
TEL : 06-6453-3700
- 日本ポリエステル株式会社 〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目8番33号 芝田ビル
TEL : 06-6372-4551
- 三菱樹脂株式会社 〒100-8252 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル
TEL : 03-6748-7400